

認

六年

画数 14
筆順 認言認認
オン ニン
クン みどりめる

成り立ち



「忍びがたい事を『忍ぶ(がまんすること)』という意味の『忍』と、『言』とを組み合わせて作った字です。

「忍びがたいけれども、忍んで『よろしい』と言って『みとめる』ことを表した字です。がまんがたいけれども、相手を『ゆるす』ことです。【例】容認、承認、認可、認証、認知、認定、公認。

また、「見留める」という意味で、「はっきりと見分ける」意味に使います。【例】認識、確認、誤認。

「同じく『みとめる』と言っても、『ゆるす』意味と、『見分ける』意味とあることに注意する。」

使い方

▽ぼくはそっかし屋を自認しています。忘れ物をすることはしょっちゅうですし、学校で先生に質問された時も早飲み込みをして、質問の意味を取り違えたりすることがあります。

▽わたしは道路を渡る時は左右を確認してから渡ります。以前、小さい子が車道にとびだして、車にひかれるを目撃したことがあって、それ以来用心深くなったのです。

熟語例

- ▽容認(それで良いと、認めてゆるすこと。)
- ▽承認(よろしいと認めて承知すること。)
- ▽認可(相手の願いを、良いと認めてゆるすこと。)
- ▽認証(ある行いとか文書の中身などを、公の機関が良いと認めて証明すること。)
- ▽認知(そうだと認めること。)
- ▽認定(資格や事実の有無などを認めて定めること。)
- ▽公認(公に認めること。)
- ▽認識(物事をはっきりと見分けること。)
- ▽確認(確かに見分けること。)

納

六年

画数 10
筆順 糸納納
オン ノウ・ナツ・ナ・ナン・トウ
クン おさ日まる日める

成り立ち



家の入り口の形を表し、「中に入れる」意味を表した「内(210)」と、「糸」を組み合わせて作った字です。

「まゆから取った糸を、家のおくらの中に入れ、『おさめておく』ことを表した字です。

物をおさめておく(しまっておく)という意味に使います。【例】収納、受納、納屋、納戸、納骨。

また、「差し出す」という意味にも使います。【例】納税、滞納、奉納。

また、「納得(心の中によくおさまる)意味で、理解し受け入れること」という使い方もします。

「おさめる」に、「しまっておく」という使い方と、「差し出す」という使い方とあることに注意する。」

使い方

▽ぼくは納得が行かない時は、とことんまで追求するたちです。そうしないと気分がすっきりしないのです。そして、わけがわかって納得できた時は、実に良い気持ちです。

▽わが家には物があふれています。あまり物が多いので、収納する場所が足りません。とりあえず使わない物は納戸にしまうようにしているのですが、しまい切れないのです。こんなに使わない物があるなんて、実に不経済だと思えます。

熟語例

- ▽収納(現金や品物などを受けとって、納め入れること。)
- ▽受納(受けとって納めること。)
- ▽納屋(物を納めておく小屋)
- ▽納戸(衣服や家具などを納めておく部屋)
- ▽納税(税金を納めること。)
- ▽滞納(税金や会費などを期限までに納めないこと。)
- ▽奉納(神仏に物をささげ納めること。)
- ▽納得(理解し、その通りだと受け入れること。)